

# ***S.Z.B.E.***

## ***Whistle***

### ***Japan***



***<http://szbe.net>***

***[ken.matsusaka@szbe.net](mailto:ken.matsusaka@szbe.net)***

〒611-0033 京都府宇治市大久保町山ノ内54の2

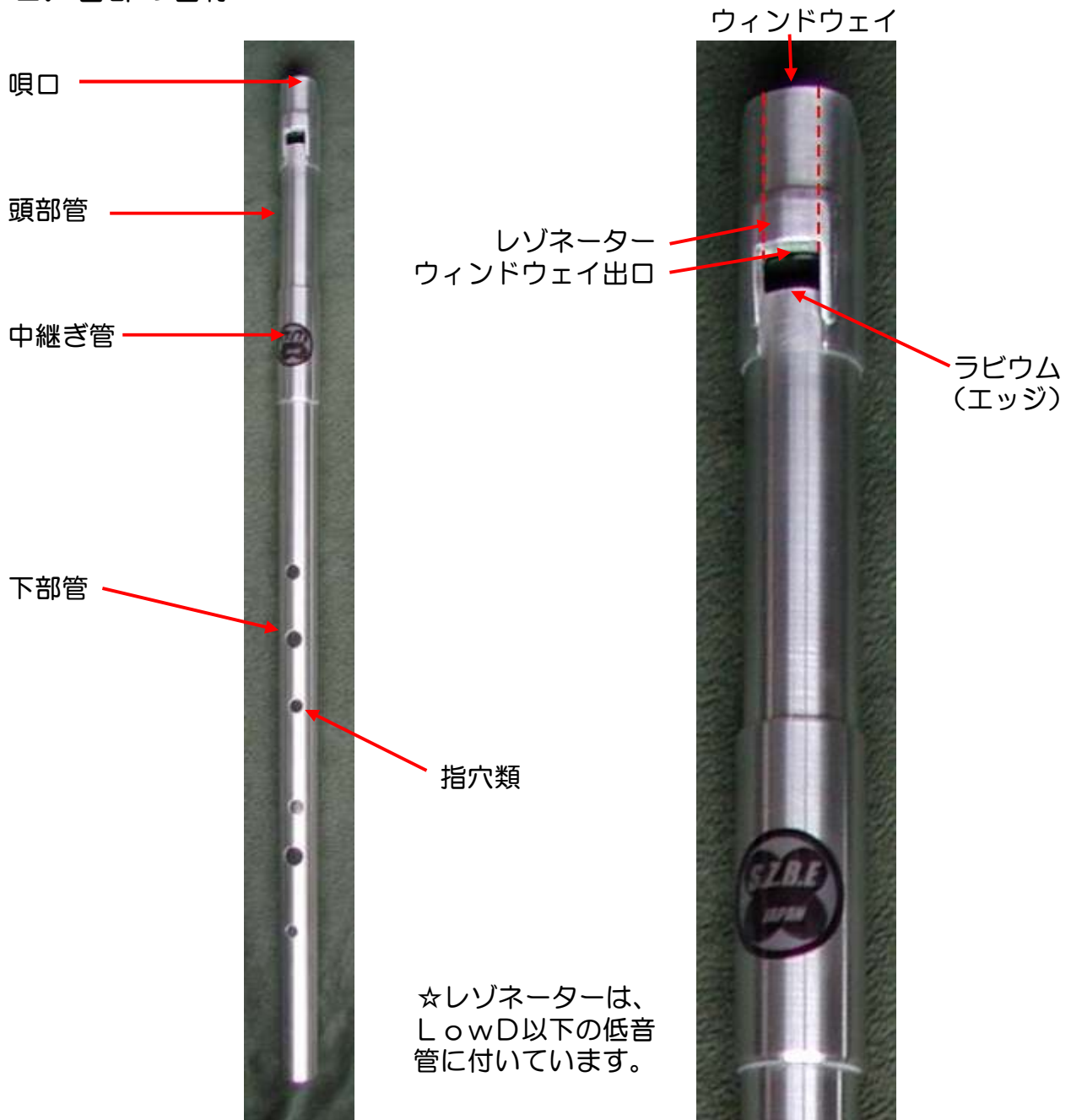
Tel.&Fax.0774-43-2283

# S.Z.B.E Whistle Japanのホイッスルについて

## 1. はじめに

この度は、**S.Z.B.E Whistle Japan** 松阪健製作のホイッスルをご購入いただき、たいへんありがとうございました。本製品を末永くご使用いただくために必ず本文をご一読くださいますようお願い申し上げます。

## 2. 各部の名称



## 3. チューニングスライドのコルクについて

チューニングは中継ぎより上がスライドするようになっております。  
また、スライド部はコルクですのであまり乾かないようにして下さい。時々コルクグリスやワセリ

ン、又はメントールの入っていないリップクリームなど塗っていただく方がコルクには良いです。頻繁に吹いていらっしゃる場合はそれほど神経質にならなくて大丈夫です。

また、万一カラカラに乾燥しても通常壊れるわけではありませんが、使用しているコルクは非常に薄いので差し込むときは十分注意して下さい。全体を水洗いするのは大丈夫ですが、コルクに直接水を掛け続けていると、ふやけて剥がれ易くなりますのでご注意下さい。洗うときはジョイントを外さずに洗うのが良いと思います。

## 4. チューニングについて

チューニングする時にどの音で合わせるのが良いかは、重要な問題です。チューニングには、ピアノやアコーディオン、音叉など音程の一定の物と合わせることも大事ですが、チューナー（チューニングメーター）の併用も強くお勧めします。

通常D管ならG又はAの音で合わせるのが良いでしょう。ただし、自分の吹き癖を把握した上でチューニングに適正な安定した音を選ぶことが大事です。吹き癖にはいろいろあり、例えば、特定の音だけを強めに吹いたりメロディの流れなどで特定の音の強さが変わったりすることがあり、また、チューニングの時だけ弱く吹きすぎて、せっかく合わせても曲を吹き出すと全くピッチが違ったりすることもあります。管楽器はオクターブ下と上の音が必ず正確な音程で出るという物ではありませんので、例えば、Gの音でチューニングする時は、上のGでも確かめるのが良いでしょう。また、合わせた後に曲を吹きながら高いか低いかを良く聞き、チューナーに頼らず再調整することが好ましいでしょう。

## 5. 持ち方

指が届きにくい場合ですが、ホイッスルは指先で押さえるのが基本というわけではありません。特に、Low Dぐらいになると手の大きな西洋人などでも演奏的には指先で押さえるのが困難です。

このような場合、通常、指をほぼまっすぐに伸ばして、指の第一関節と第二関節の間の腹の部分で押さえます。ただし、薬指に関しては指先で押さえる方が良い場合と腹で押さえる方が良い場合とに分かれます。

## 6. 運指について

押さえ方ですが、基本的に下から開けていきます。幾つかの替え指がある音もあります。特にD管に於けるCナチュラルは息の量やチューニングなどにより運指を使い分けることがお奨めです。Cナチュラルは一番ピッチの安定が悪く、息の圧力に影響されます。

基本的にアイリッシュミュージックでは上のオクターブのCナチュラルまでしか使いませんが、それ以上の運指も記しておきます。この辺りになると通常あまり知られていません。

特に3オクターブ目の音程はあまり正確には出せませんのでトリッキーな使い方などに限定されてしまいますし、実際Low Dではかなり難しいです。また、3オクターブ目など高域は非常に個体差が出やすい為、同じキーの物でも運指が異なる場合があります。

後記運指表については、それ以外の運指もありえますし、たとえば本来は全開のC#の時に、持ちにくい為に一番下の穴を押さえるなど、それ以外の場合もピッチに問題がなければいろいろな運

指を積極的に試してお使い下さい。

なお、D調に於いてのCナチュラル以外の半音に関しては、ホイッスル類の性格上、運指では正確に出せず、指の半開などで使用します。ただし、ある程度近い音を運指で出せる場合もあります。

ある音の半音下を出したい時の法則は、元の音の運指の中で開いている一番上の穴は開けたままでその下3つの穴を押さえます。例えばD管のA音の場合、上から2つだけを閉じていますが、その半音下の音、A $\flat$ を出したい時には上から3つ目の穴だけを開けてその下3つは閉じます。つまり、上から3つ目の穴だけを開けた状態です。

ただし、これらは可能性のある一例としてお考えください。

## 7. ウィンドウェイのクリーニング

使用しているとウィンドウェイ（吹き口の空気の通る部分）には水垢が付着して、低音や高音の出が悪くなります。こんな時は、ウィンドウェイのクリーニングが必要です。クリーニングには、食器用の中性洗剤と60～80℃程度のお湯を使用します。この作業は、キッチンまたは洗面所や風呂場のような、火傷しない程度の熱湯の出る蛇口があるところで行うのが良いでしょう。

まず、蛇口の下で図1のようにホイッスルをウィンドウェイの出口が（ホイッスルの前面が）上を向くようにしながら、ヘッドを斜め下に向けて持ちます。

次にウィンドウェイ出口付近からウィンドウェイ内部に入るように洗剤をつけます。（図2）



図1 このように持ちます。



図2 写真は泡状の洗剤をつけた様子。



図3 お湯を勢いよく当てて流します。

その後、お湯を、ウィンドウェイ出口付近に勢いよく当てるように流します。（図3）

ホイッスルは、なるべく蛇口から離れたほうがお湯の勢いを利用できます。

使用するお湯はある程度熱い（80℃ぐらいの）方が効果があり、また乾燥も早いですが、くれぐれも火傷しないようご注意ください。

また、洗剤は泡状になっている方が洗浄には向いています。

その後、つまみ取りの要領で水滴を取ってください。

## 8. 洗浄しても詰まりが取れないゴミなどは

ウィンドウェイの中にゴミなどが入って取れない時は、直接何かを突っ込んで取るしかありません。小さなほこりのようなものでも水流では流れない場合があります。

私がよくやる方法は、使用済みのプラスチック素材のプリペイドカードやポイントカードなど薄手のものを、幅16mm弱（長さはカードの長い辺を利用）に切り、それを2つ折、つまり幅8mm弱の細長い状態にします。（厚みによっては24mm幅で3つ折でも良いです。）これを、ウィンドウェイから差し込んで先端の角で何度もこすります。ウィンドウェイの中でも左右の隅にゴミが溜まりやすいので隅に押し付けるようにして、削り取るようにこするのが良いです。

また、何度かこすった後、カード片の左右の向きを変えて、つまり、折り目の部分と切りっぱなしの部分では、ゴミの取れ方が異なりますのでこれを利用して左右同じようにこすります。

その後は、前述の洗浄を行ってください。

## 9. 管内部のクリーニングについて

管内部のクリーニングについては、あまり神経質にならなくても大丈夫です。

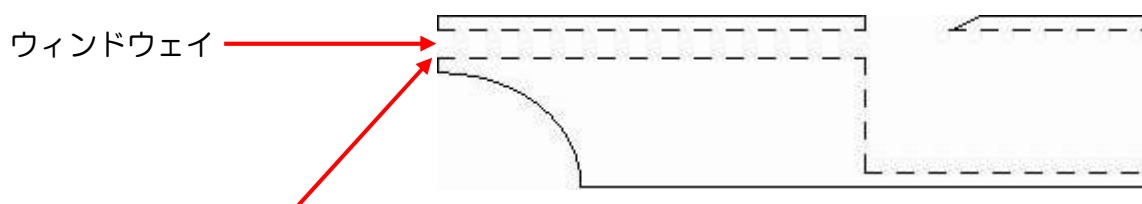
木管ではないので、通常の使用や乾燥などで割れる事はなく、汚れによる音色への影響も殆どありません。また、EZタイプのホイッスルは指穴に管の内部に向かって小さな短い管が仕込んであります。その為、掃除棒などで管の内部をクリーニングしようとする、引っかけたりして故障の原因にもなりかねません。やむを得ずクリーニングされる時は、充分ご注意ください。

## 10. 音色のコントロール

あまり知られていないですが、ホイッスルは、くわえ方や口の中の形などで音色が変わります。**SZBE**のホイッスルは比較的ノイズ成分が少なくクリアな音色に設計しておりますが、これを利用してノイズの多い音を出すことも出来ます。

ノイズの原因は、空気の流れが妨げられる事で発生します。ノイズを多くするにはウィンドウェイの周囲の角に息が当たるようにするのですが、具体的に簡単な方法としては、口先の力を抜いて、吹いた時に口元（唇の内側と歯の間）に空気が溜まって少し膨らむような吹き方をします。舌を盛り上げたりして口の中の形状を変えることでも空気の流れが変わり、ノイズを出す事が出来る場合があります。

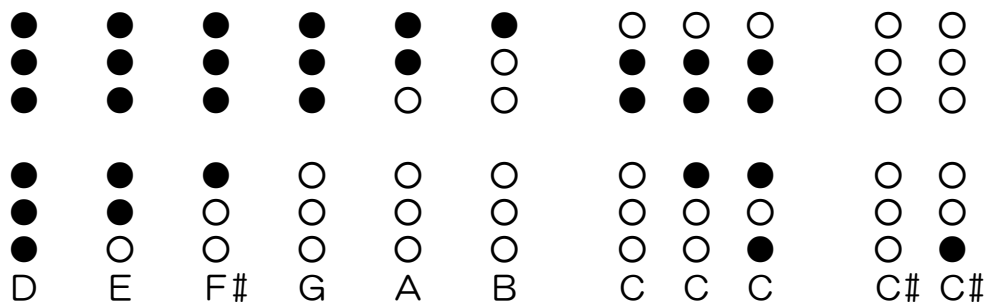
反対に、ウィンドウェイに素直に空気が入って行くように吹くと、ノイズは出ません。一つのホイッスルで違う音色も楽しんでみてください。



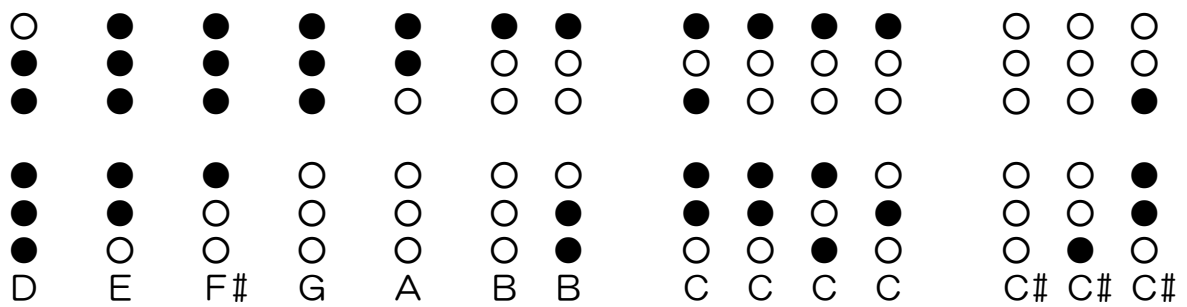
この角の部分に息が当たるとノイズが多い音になる。

# 運指表

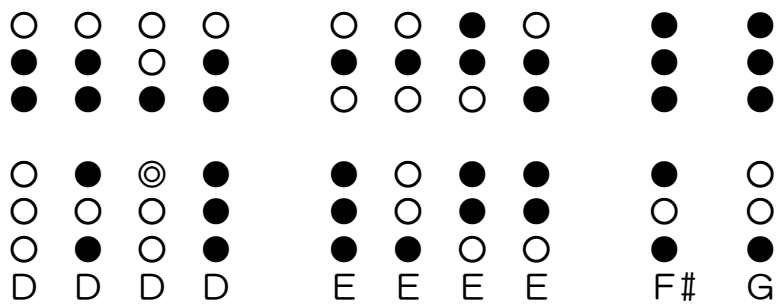
## 第1 オクターブ



## 第2 オクターブ



## 第3 オクターブ



- ・・・開ける
- ・・・閉じる
- ◎・・・半開

使用する指は上から、左人差し指、中指、薬指、右人差し指、中指、薬指です。  
D管以外の場合も運指は基本的に同じです。音名はずらせてお考えください。